記載例（特定有害産業廃棄物）

別紙　事業の範囲(特定有害産業廃棄物)

申請者名　　**株式会社　札幌適正処理興業**

有害物質の種類 ＼ 産業廃棄物の種類	鉱さい	ばいじん	燃え殻	廃油	汚泥	廃酸	廃アルカリ
水銀又はその化合物を含むもの	×	×			●	●	●
カドミウム又はその化合物を含むもの	×	×	×		●	●	●
鉛又はその化合物を含むもの	×	×	×		●	●	●
有機燐化合物を含むもの					●	●	●
六価クロム化合物を含むもの	×	×	×		●	●	●
砒素又はその化合物を含むもの	×	×	×		●	●	●
シアン化合物を含むもの					●	●	●
トリクロロエチレンを含むもの				○	○	○	○
テトラクロロエチレンを含むもの				○	○	○	○
ジクロロメタンを含むもの				○	○	○	○
四塩化炭素を含むもの				○	○	○	○
1・2－ジクロロエタンを含むもの				○	○	○	○
1・1－ジクロロエチレンを含むもの				○	○	○	○
シス－1・2－ジクロロエチレンを含むもの				○	○	○	○
1・1・1－トリクロロエタンを含むもの				○	○	○	○
1・1・2－トリクロロエタンを含むもの				○	○	○	○
1・3－ジクロロプロペンを含むもの				○	○	○	○
テトラメチルチウラムジスルフィド(チウラム)を含むもの					○	○	○
2－クロロ－4・6－ビス－s－トリアジン(シマジン)を含むもの					○	○	○
S－4－クロロベンジル＝N・N－ジエチルチオカルバマート(チオベンカルブ)を含むもの					○	○	○
ベンゼンを含むもの				○	○	○	○
セレンまたはその化合物を含むもの	×	×	×		○	○	○
1・4－ジオキサンを含むもの		○		○	○	○	○
ダイオキシン類を含むもの		×	×		×	×	×

○：許可取得するもの　　●：既に許可を有しているもの　　×：許可取得しない項目

※　上表の産業廃棄物の種類欄の産業廃棄物で、有害物質欄の物質を環境省令で定める基準を超えて含むものを特定有害産業廃棄物という。（排出源が限定される場合があります。）

※　訂正する場合は訂正印が必要です。

記載例

様式第６号の２　　（第１面）

事業計画の概要

１．事業の全体計画（変更許可申請時には変更部分を明確にして記載すること）

①　事業の概要

・主に、札幌市内の建設現場から排出される建設系廃棄物を収集し、中間処理場へ運搬する。

②　営業範囲

・札幌市、北海道内（旭川市内及び函館市内を除く。）

２．取り扱う産業廃棄物（特別管理産業廃棄物）の種類及び運搬量等

	（特別管理）産業廃棄物の種類	運搬量（t/月又は㎥/月）	性状	予定排出事業場の名称及び所在地	積替え又は保管を行う場合には積替え又は保管を行う場所の所在地	予定運搬先の名称及び所在地（処分場の名称及び所在地）
1	木くず	○ t/月	固形	○○建設(株) 札幌市豊平区○○	―	(株)○○○○ 札幌市手稲区○○
2	廃石綿等（特管物）	○ t/月	固形	同上	―	札幌市山口処理場
3	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	○ t/月	固形	同上	―	(株)○○○○ 札幌市白石区○○
4	石綿含有産業廃棄物	○ t/月	固形	同上	―	○○○○(株) 札幌市南区○○
5	水銀使用製品産業廃棄物	○ t/月	固形	同上	―	株)○○○○ 札幌市厚別区○○
6						
7						
8						
9						

※取り扱う産業廃棄物の種類ごとに記載し、搬入先（本社住所ではなく、処分場の所在地）も記載すること。

※石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物又は水銀含有ばいじん等を取り扱う場合は、「産業廃棄物の種類」欄に、それぞれ「石綿含有産業廃棄物」、「水銀使用製品産業廃棄物」又は「水銀含有ばいじん等」と行を別にして記載すること。（石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物又は水銀含有ばいじん等を含む産業廃棄物の種類ごとに行を区別して記載する必要はない。）

※水銀回収義務のある水銀使用製品産業廃棄物又は水銀含有ばいじん等を取り扱う場合は、その旨を記載し、予定運搬先の名称についても明確に記載すること。

※具体的な会社名を記載すること。（特定の収集対象事業所が決まっていない場合は、「札幌市内の○○業者」のように記載すること。）

備考　取り扱う（特別管理）産業廃棄物の種類ごとに記載すること。

（日本工業規格　Ａ列４番）

記載例

様式第６号の２　　（第２面）

３．運搬施設の概要
（1）運搬車両一覧

	車体の形状	自動車登録番号 又は車両番号	最大積載量 (kg)	所有者又は使用者	備考
1	脱着装置付コンテナ専用車	札幌　100 あ　△△－△△	3,800	（所有者）株式会社環境〇〇	新規
2	キャブオーバ	札幌　100 い　△△－△△	8,000	（所有者）株式会社〇〇リース （使用者）株式会社札幌適正処理興業	廃止
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

※登録車両に変更があった場合は、変更届の提出が必要になります。備考欄に新規、廃止の別を記入してください。
※車両が借用車の場合は、別途、賃貸契約書の写し又は車両使用承諾書【用紙１】が必要になります。

事務所の所在地	札幌市中央区北〇条西〇丁目〇番〇号 ※　付近の見取図を添付すること。
駐車場の所在地	札幌市中央区北〇条東〇丁目〇番〇号 ※　付近の見取図を添付すること。

（2）その他の運搬施設の概要

運搬容器等の名称	用　　途	容　　量	備　　考
コンテナ	木くず、がれき類、 ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	〇㎥	
フレコンバッグ	石綿含有産業廃棄物	〇㎥	

記載例

様式６号の２　　（第３面）

(3) 積替施設又は保管施設の概要

①所在地
札幌市中央区南〇西〇丁目〇〇番〇号

②保管する産業廃棄物の種類及び保管数量

	構造	保管面積	保管上限	高さ	備考
廃酸	Ｓ造、建屋内	〇 m^2	〇〇 m^3	〇 m	容器保管
廃アルカリ	RC造、建屋内	〇 m^2	〇〇 m^3	〇 m	容器保管

※積替施設又は保管施設がない場合は該当がない旨を記載。

※　構造を明らかにする平面図、立面図、断面図、構造図及び設計計算書並びに当該施設の付近の見取り図を添付すること。

記載例

様式第６号の２　　（第４面）

４．収集運搬業務の具体的な計画（車両毎の用途、収集運搬業務を行う時間、休業日及び従業員数を含む。）

(1)車両毎の用途

①脱着装置付コンテナ専用車

木くず、がれき類、

ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず

②キャブオーバ

がれき類

石綿含有産業廃棄物

(2)収集運搬業務を行う時間

８時～17時（休憩　１時間）

(3)休業日

日曜、国民の祝日、年末年始（12月29日～１月３日）

従業員数の内訳

〇〇年〇〇月〇〇日現在

申請者又は申請者の登記上の役員	政令第6条の10で準用する第4条の7に規定する使用人	相談役、顧問等申請者の登記外の役員	事務員	運転手	作業員	その他	合　計
３人	１人	０人	１人	５人	３人	０人	13人

記載例

様式第６号の２　　（第５面）

５．環境保全措置の概要（運搬に際し講ずる措置、積替施設又は保管施設において講ずる措置を含む。）

(1)運搬に際し講ずる措置

・飛散防止のため荷台にはシート掛けを行うとともに、騒音・振動等によって生活環境の保全上支障が生じないよう十分に配慮する。

・汚泥については容器を使用し運搬する。

・石綿含有産業廃棄物は、破砕することがないような方法で、かつ、　他の廃棄物と混ざらないようにフレコンバッグに入れて運搬する。

(2)積替施設又は保管施設において講ずる措置

保管場所は、作業のないときは門扉を閉め、施錠して第三者が立ち入れないようにする。

積替え作業を行う際には、飛散しないよう散水し、周囲に人がいないことを確認した上で慎重に作業を行う。また、強風、大雨の際には作業をしない。

石綿含有産業廃棄物は、他の廃棄物と混合ないよう仕切りを設置する。

収集場所、飛散・流出防止措置、悪臭防止措置、騒音・振動による影響の防止、容器の使用等について、詳細に記載すること。

記載例

（第６面）

様式第６号の２

運搬車両の写真

<table>
<tr><td>自動車登録番号又は
車両番号</td><td colspan="2">札幌　100
あ　11－11</td></tr>
<tr><td>前
面
写
真</td><td colspan="2">写真の方向等について図示するのが望ましい。

注意事項
・車両の前面（真正面）を撮影すること。
・ナンバープレートが確認できること。</td></tr>
<tr><td>側
面
写
真</td><td colspan="2">注意事項
・車両の側面（真横）を撮影すること。
・名称等の車体の表示が確認できること
（既に許可を有している場合には所定の事項（「産業廃棄物収集運搬車」、「会社名（事業者名）」、「許可番号」）が表示されていること。
車体の表示が読み取れない場合には、表示部分を拡大した写真も添付すること。）

撮影　〇〇年〇〇月〇〇日</td></tr>
</table>

記載例

様式第６号の２

運搬容器等の写真

運搬容器等の名称	コンテナ	用途	木くず、がれき類
注意事項 ・容器等の全体が写るように撮影すること。 撮影　〇〇年〇〇月〇〇日			

運搬容器等の名称	フレコンバッグ	用途	石綿含有産業廃棄物
注意事項 ・容器等の全体が写るように撮影すること。 撮影　〇〇年〇〇月〇〇日			

記載例

様式第６号の２　　（第８面）

事業の開始に要する資金の総額及びその資金の調達方法		
内　　訳		金　　額（千円）
事業の開始に要する資金の総額		２５，０００
	土　　地	**購入費**　５，０００
	事務所１	**造成費**　２，５００　**建設費**　５，０００
	事務所２	**造成費**　１，５００　**建設費**　３，０００
	収集運搬車両	**購入費**　２，０００
	積替保管施設	**造成費**　２，０００　**建設費**　４，０００
調達方法	自己資金	５，０００
	借入金	２０，０００
	その他	
	増　　資	

※許可更新時等、現に所有している施設をそのまま継続して使用するため、新たな資金の調達を要しない場合は、その旨を記載すること。

備考　内訳欄の事項については、事業計画に応じ適宜変更すること

記載例

様式第６号の２　　（第９面）

資 産 に 関 す る 調 書（個人用）

〇〇年〇〇月〇〇日現在

資産の種別	内　　容	数　　量	価格、金額（千円）
現金預金	定期預金		３，０００
有価証券	株式	１，０００株	１００
未収入金			
売 掛 金			
受取手形			
土　　地	自宅宅地 駐車場土地	１１０㎡	２０，０００
建　　物	自宅	１棟	１２，０００
備　　品			
車　　両	ダンプ	１台	３，０００
そ の 他			
資　　産　　計			３８，１００
負債の種別	内　　容	数　　量	価格、金額（千円）
長期借入金			１９，０００
短期借入金			５００
未 払 金			
預 り 金			
前 受 金			
買 掛 金			
支払手形			
そ の 他			
負　　債　　計			１９，５００

記載例

様式第６号の２　　（第10面）

誓　約　書

申請者は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律第14条第５項第２号イからへに該当しない者であることを誓約します。

〇〇年〇〇月〇〇日

（宛先）札幌市長

申請者

住所　**札幌市中央区北〇条西〇丁目〇番〇号**

氏名　**株式会社　札幌適正処理興業**
代表取締役　産廃　太郎
（法人にあっては名称及び代表者の氏名）

記載例

用紙１

車 両 使 用 承 諾 書

〇〇年△△月××日

申　請　者

株式会社　札幌適正処理興業

代表取締役　札幌　太郎　　様

（法人にあっては名称及び代表者の役職並びに氏名）

自動車検査証記載使用者

住　所

札幌市東区北〇条東〇丁目〇番〇号

氏　名　　**株式会社　〇〇　商会**

代表取締役　〇〇　三郎　　印

（法人にあっては本店所在地、名称及び代表者の役職並びに氏名）

私（当法人）は、あなた（貴法人）が、産業廃棄物の収集・運搬用として次の車両を使用することを承諾しています。

車両登録番号	**札幌　400　あ　〇〇－〇〇**
車両の形状	**バン**

記載例

用紙２

（土地・建物）使用承諾書

〇〇年△△月××日

（所有者）

所有者を確認するため、不動産登記簿謄本も併せて提出する必要があります。

住　所　　**北海道石狩市花川北〇条〇丁目〇番〇号**

氏　名　　**札幌　市郎**　　印

（法人にあっては本店所在地、名称及び代表者の役職並びに氏名）

私は（当法人）は、自ら所有する（土地・建物）を下記のとおり使用することを承諾しております。

記

１　（土地・建物）の所在地
（地番まで記入すること）
札幌市中央区北〇条東〇丁目〇番〇号

２　使用の目的
（産業廃棄物・特別管理産業廃棄物）収集運搬業の（事務所・駐車場）として

３　使用する者

住　所　　**札幌市中央区北〇条西〇丁目〇番〇号**
氏　名　　**株式会社　札幌適正処理興業**
代表取締役　札幌　太郎
（法人にあっては本店所在地、名称及び代表者の役職並びに氏名）

※該当事項に〇をし、必要事項を記入すること。